

県内経済はこれまで緩やかな拡大を続けているが、その牽引役となってきた製造業に逡巡の兆しがみられる。県内の主要業種である生産用機械や電気機械の生産動向をみる

展望台

県内製造業に変調の兆し

長江 敬

は、夏場以降マイナスとなる月がみられる。新規求人数も製造業では6月以降、前年を下回るようになって

いる。これらの状況が生じている要因として、地元企業が

企業が得意とする半導体関連、産業用ロボット・工作機械などの需要が拡大することは確実だ。したがって、生産に一服感がみられる間に、先行き想定される需要の増加に向けて着実に手を打つことが重要となる。

と、2016年後半から大幅に増加してきたが、足もととは全体としては高水準ながら一部製品で減少に転じている。

こうしたこともあり、17年後半から10%前後の増加が続いていた製造業の所定外労働時間の前年比伸び率は

らば、①グローバルベースが適当だろう。②一部半導体メーカーでの設備投資の先送りやAI（人工知能）の活用が進展、活発な自動化が減少していること③米中貿易摩擦を受け、中国で設

えれば、中長期的には出地。短期的な業績に左右されず、新たな需要の獲得に繋がる技術・研究開発を継続していくことや、これまで

（日銀甲府支店長）